

どうも  
ことを

等が、シベリア・北極圏に滞留中に、従来言われてきた亜成鳥の時期—すなわち頸部のみ灰色残留の時代があるものと考えられる。

紙数の制限もあり、次回第2部はなお重大だが以上をもってひとまず第1部の筆を擱く。

「第2部」では、私のいわゆるコハクⅡ型及び「ダイヤモンド形」のオオハク・コハクについての私説を示したいと思う。諸氏のご叱正を得ることができれば幸いである。 (51.4.25)

## 白鳥の野外識別メモ

特に成鳥・亜成鳥について

吉川吉枝

<p>A 雛 (推測)</p>	<p>1. 孵化してから親鳥の管理の下で生活している。 2. 形はまだ白鳥の幼鳥・成鳥の体形にならない。 3. 羽毛は幼羽で色は薄茶色である。 4. 生後2ヶ月～3ヶ月くらい?</p>		<p>次秋、渡来期には全身白色になっている。 5. 親とともに生活している。</p>
<p>B 幼鳥</p>	<p>1. 形は白鳥の体形になっている。 2. 羽の色は、はじめは灰色である。 3. 嘴の黄色部が鮮明でなく白っぽい。ピンクが混っている場合もある。 4. 春、換羽が進むと翼は白色を帯び頭部も白斑が出てくる。</p>	<p>C 成鳥 (生後4年目くらい?)</p>	<p>1. 全身白色。 2. 嘴の黄色部が鮮明である。 3. 幼鳥と共に生活している。</p>
		<p>D 亜成鳥 (生後2年目 ↓ 3年目くらい?)</p>	<p>1. 全身白色。 2. 嘴、鮮明な黄色である。 3. 外見は成鳥と同じだが、繁殖能力がない。 野外識別困難。 4. 亜成鳥群に独身の成鳥も混っていると思われるが、いづれにしても、識別困難。</p>

### 集計結果から見た

ハクチョウ類の識別と成・亜・幼区分上の課題

観察例	親子群	集団	集計表記載例 (1)	誤記しやすい例
色識別基準	白色 : 灰色	白色 : 灰色	白色 : 灰色	白色 : 灰色+?
識別区分	成鳥♂+♀ : 幼鳥	成+亜成 : 幼	成+亜成 : 幼	成 : 幼+亜成
識別数	2羽 : 1~6羽	281 : 76	多数 : 少数	多数 : 少数?
総数	3 ~ 8羽	357	総数	総数